

文化によって分断され、受け入れて団結

アメリカ合衆国：自由の国：経済大国：石油マニア：この国を呼ぶ方法はたくさんある。この夏休み、私はそこで1週間過ごす機会を得た。アメリカ旅行の後、私はアメリカを奇跡の国とも呼べるのではないかと考えるようになった。それは、文化が共存する独特の方法があるからだ。そこで、私が今まで経験した中で最も印象的なことをお話ししよう。

これは、ニューポートビーチで出会ったインド人とパキスタン人のカップルの話だ。パキスタン人の女性はかつてカシミールに住んでいたことがあるそうだ。カシミールはインドとパキスタンの近くにある地域で、現在両国の間で国境紛争が起きている。彼女は母国から逃げてアメリカに飛んだが、いつかは戻りたいと願っているという。

インド人とパキスタン人は、宗教や政治に関しては別だが、一般的には友好的である。しかし、彼女の住んでいた地域は特に紛争地域であり、ギルギットと呼ばれていた。事実上パキスタンの管轄下にあるが、インドも領有権を主張している。

アメリカに逃れた後、彼女は不安でいっぱいだったという。「自分の英語力は十分ではないと思いました。アメリカ人、文化、社会は私にとって全く馴染みのないものだと思います。そして孤立したり、差別されたりするのではないかと思います。」頼れる人が誰もいない中で、彼女が直面した困難を想像することすらできない。

ちょうどその時、彼女は職場でインド人の男性と出会った。彼もかつてインドで困難な生活を送っていたため、彼女の圧倒された気持ちに共感してくれた。彼は私にこう言った。「アメリカでの生活は私を変えたと思います。私は以前は少し心を閉ざしていました。ヒンズー教徒とカレーだけを食べて続けていたからかもしれません。私はそこでとても多くの人々がいて、お互いの決定を尊重し、誰も孤立しないように一つの基準に同化しようとはしないことを知りました。もちろん文化的な衝突はたくさんありましたが、彼女も変わってきていると思います。問題を乗り越えたおかげで、今ではカップルになれたんです」

聞きましたか？ 母国同士が敵対し続けているにもかかわらず、これらの国のカップルが米国で幸せに暮らしていることは、文化が溝を埋めることができることを示しています。政治的な不和はまだあるかもしれませんが、それはアメリカの奇跡の一つである多文化主義のおかげで、彼らの愛には何の影響もありません。人種、文化、信仰、性的指向で人々がどれだけ分断されていても、アメリカの人々が育み、守ってきた受け入れるという価値観のもとで彼らは団結しています。グローバル化が進む中、人々が仲良くやっていくための最も望ましい方法の一つだと思います。

しかし、日本は島国であり、もともと移民がいません。外国のものを躊躇なく受け入れるのは難しいでしょう。では、どうすればいいのでしょうか。他の文化に100%同化することは不可能だとしても、少なくとも学ぶことはできます。外国について学ぶことで、外国のものをより受け入れることができるようになります。なぜなら、外国は人間が最も恐れる未知のものだからです。言い換えれば、教育を通じて世界中の人々に文化に関する知識を広めることで、彼らは文化の違いを学び、理解し、さらには楽しむことができるのです。これが、私が国際教育者を目指すようになった理由です。私は奇跡を経験するだけでなく、奇跡を起こす男になりたいです。その幸運を祈ってください。ありがとう、良い一日を。

3つの奇跡から学んだこと

試合で波がなかったために、サーフィンの大会に数え切れないほど負けました。あちこちで泣きながら、水の中のすべての瞬間を考え直しました。でもそのたびに、海が私に別の教訓を与えてくれたと信じて受け入れ、次回に向けて自分をリフレッシュしました。私はいつも自分に言い聞かせてきました。「次のチャンスは常にある、信じれば勝てる」。学んだことをすべて持ち続け、サーフィンに夢中になった最初の時を振り返ると、私が出会う波はすべて奇跡です。小さな波から巨大な波まで、きれいで滑らかなものもあれば、でこぼこしていて混沌としていてトリッキーなものもあります。潮の動きによっては、小さな変化でも大きな変化をもたらすことがあります。たとえば、小さな波のときに干潮から満潮に変わると、乗れない波が最高の波になることがあります。皆さんにサーファーになって波の重要性を発見してほしいと言っているわけではありませんが、私が言いたいのは、海が私たちに与えてくれる、特徴、特性、大きさ、力強さ、色の異なる波はどれも奇跡だということです。

では、別の話をしましょう。私の母は、祖父の忠吉と藤吉が第二次世界大戦中に日本軍に志願したと教えてくれました。忠吉は無事に軍に入隊しましたが、藤吉は身長が低かったため入隊できませんでした。兵士になるには背が低すぎたのです。恐ろしい戦争に行かなくて済んだので、皆さんは彼が幸運だったと思うでしょう？ はい、私もそう思いました。しかし、戦時中の日本では物事はそれほど単純ではありませんでした。すべての男子と男性は軍隊の一員になるように教育され、悲しいことに、息子を軍隊に送ることはすべての家族にとって非常に名誉なことでした。戦争に参加できなかった藤吉の友人の多くは、罪悪感、無力感、恥ずかしさを感じて自殺しました。藤吉は、熱心な農民となり、周囲の人々を助け、国のために役立ち、生産的になることを決意しました。当時の圧力と国家主義が愚かで無意味に強かったにもかかわらず、兵士ではないという批判に耐え、生き続けることを決意したのは奇跡です。

もう一人の曾祖父である忠吉はどうなったのでしょうか。彼は軍隊に入り、中国に送られ、戦争は終わりました。彼はロシア軍に捕らえられ、シベリアの抑留所に送られ、そこで約58,000人の日本人捕虜が厳しい寒さ、病気、飢餓のために亡くなりました。私の母によると、忠吉はそこで友人を全員失ったそうです。彼が過酷な環境で生き延び、最終的に日本に戻って人生をやり直すことができたのは奇跡です。不幸な運命によって一度破壊された彼の大切な人生のすべての破片を拾い集めることができたのは奇跡でした。藤吉や忠吉だけでなく、私の先祖が皆、人生を生き、素晴らしい人生を送れたことは奇跡です。

私は日本出身の14歳ですが、日本には他に何人の14歳がいるか見てみましょう。e-stat.go.jpによると、2024年現在、日本には約1,071,305人の14歳がいます。この膨大な数の中には、さまざまな波について話したように、さまざまな14歳がいます。背の高い人もいれば、それほど背が高くない人もいます。私のように筋肉質の体型の人もいれば、もっと痩せている人もいます。私が言いたいのは、彼らは皆違って、それが彼らを特別にしているということです。世界には他のカイル・ヤマダはいませんし、他のあなたもありません。私たちがユニークで違いのある自分らしくいられることは奇跡です。これを念頭に置いて、いじめと自殺にほかならない日本の大きな社会問題を見てみましょう。2023年には、いじめ事件が約55万件発生し、441人の生徒が自殺しました。いじめと自殺は、日本で最も深刻で懸念される問題であるだけでなく、私が述べたデータは、過去最高の割合でした。私たち全員が、温かく支えてくれる友人に囲まれて安心して学習できる非常に安全な環境

にいることは奇跡です。

スピーチを通じて私が伝えたかった主なメッセージは、あなたが自分自身であることは奇跡であるということを常に心に留め、自信と幸せを何事にも奪われないようにしてほしいということです。そして最後に、今日家に帰って家族を抱きしめ、「愛している」と「ありがとう」と言ってください。

あなたにとって奇跡とは？

奇跡とは何なのか、考えたことがありますか？私にとっては、人間の存在そのものが奇跡です。信じられないかもしれませんが、人がこの世に無事に生まれる可能性は信じられないほど小さく、まるで宇宙最大の宝くじに当たるようなものです。素晴らしいと思いませんか？命そのものがそれほど稀で貴重な贈り物であるなら、私たちはそれをどう扱うべきでしょうか？

残念ながら、歴史を通じて、この奇跡、つまり人間の命は、しばしば痛ましく悲劇的な形で失われてきました。いじめ、差別、盗難、殺人、戦争によって多くの命が奪われてきました。奇跡的な命が、他の奇跡的な存在の行動によって失われていると考えると、胸が張り裂けそうです。しかし、なぜこのようなことが起こるのでしょうか？

怒り、嫉妬、他人に対する劣等感などの特定の感情が原因だと思います。これらの感情は、人々に有害な行動を取らせることがあります。しかし、なぜ私たちはこれらの感情をコントロールするのに苦労することがあるのでしょうか？それは、物事が思い通りにいかないと、感情を管理する「自我」と呼ばれる部分が不安定になるからかもしれません。

自我の役割は、私たちが望むことと現実的なことのバランスを取ることです。たとえば、ケーキを丸ごと食べたい場合、それが健康的ではないことに気づき、自分を止めるかもしれません。しかし、受け入れられること、重要だと感じることで、何かを達成することなどの私たちの欲求が満たされないと、感情が制御不能になることがあります。これは怒りや嫉妬につながり、意図せずに他人を傷つけることがあります。

では、これらの感情をよりうまく制御するにはどうすればよいのでしょうか。

最初のステップは、自分が感じていることを理解することです。次に、それらの感情を健康的な方法で管理するようにしてください。いくつかのアイデアをご紹介します。

1. 否定的な考えを肯定的な考えに変えます。
2. 少し時間を取って、中立的な視点から相手がどのように感じているか、考えているかを想像します。
3. 緊張を和らげるために、運動などのアクティブなことをします。
4. 心を落ち着かせ、集中力を保つための毎日の習慣を身につけましょう。

このような小さな努力でも大きな違いを生むことができます。自分の感情を大切に、他人を尊重することで、より良い世界、つまり生命の奇跡をみんなで大切にできる世界が生まれます。

まずは自分自身から始めましょう。お互いに優しさ、理解、愛を持って接しましょう。結局のところ、私たち一人ひとりが奇跡なのです。

友情はたくさんの奇跡を起こす

みなさんこんにちは。今日は講演の機会をいただき、ありがとうございます。

奇跡的な体験をしたことがありますか？

皆さんのほとんどは「はい」と答えると思います。生きている限り、それはすでに奇跡だからです。

人生を変えるような奇跡的な体験をしたことがありますか？

私があります。人生には気づかないほど多くの奇跡があります。

でも今日は、最近私に起こった奇跡についてお話ししましょう。

3か月前、私は英語を勉強するためにフィリピンに行きました。そこで語学学校に通っていました。

日本とフィリピンには多くの違いがあります。

私の意見では、日本と比べて、フィリピンではすべてがもっとリラックスしているのんびりしています。良いこともあります、悪いこともあります。

例えば、タクシーを予約したら、学校の従業員が10分待つように言ったのに、1時間待たされました。その時はとても驚きましたが、それは国民にとっては普通のことです。

日本ではそんなことは絶対に起こりません。それでも、そのおかげで良い経験もできました。私にとっては奇跡です。

その語学学校にいたとき、たくさんの友達ができました。

ある生徒と私は親しかったのですが、残念ながら彼女は私より早くコースを修了して帰国してしまいました。

それで私は彼女を空港まで送りたかったのですが、彼女のフライト中に授業があったのでできませんでした。

さらに、彼女はフィリピンの交通が少し混雑していることを知っていて、それを心配していたので早めにタクシーを予約したのですが、奇跡的にタクシーは時間通りに到着しました。その結果、私は彼女に別れを告げることができませんでした。また、彼女が早く学校を出たので、用意したプレゼントを渡すこともできませんでした。とても悲しかったです。

彼女にテキストメッセージを送ることしかできませんでした。

突然、彼女からメッセージが届きました。

彼女は「天候のせいでフライトがキャンセルになったので、アカデミーに戻って明日まで滞在します」と言いました。

私はそのことを残念に思いましたが、同時に一緒に過ごす時間がもっと増えてうれしかったです。やっとまた会えて、彼女のために何かしてあげることができました。

さらに、今回は授業がなかったので、彼女の新しいフライト時間は私にとって都合がよかったです。そして、私は彼女を空港まで連れて行く自由時間がありました。

彼女が飛行機に乗り込むと、私たちは別れを告げ、また会うことを約束しました。

彼女と私は今でも友達で、また会う予定です。

もし私が別れを告げず、彼女が去っていたら、私たちの友情は続かなかっただしょう。

本当の友情は、私たちが介入しなくても良い方向に進むと感じました。

結論として、私たちの友情に奇跡が起こりました。これは、真実であるものすべてに奇跡が起こるという意味だと思います。ですから、誠実に進みましょう！

奇跡への道

こんにちは、ささき しゅんです。

簡単に自己紹介をすると、私は東京に住む 18 歳の高校生です。中学では野球、高校ではサッカーをやっていました。

このスピーチコンテストに参加する機会をいただき、ありがとうございます。

正直に言うと、このコンテストに参加しようと思った一番の理由は、賞品として提供されるディズニーリゾートのギフトカードです。

このギフトカードを勝ち取って、好きな女の子をディズニーに誘いたい。しかし、彼女が私の誘いに応じてくれる可能性は 0.00000001% です。実現するには「奇跡」が必要です。

さて、本題に入りましょう。

どんな出来事が起こったときに奇跡が起こったように感じますか？

私の人生の中で、「奇跡が起こった！」と思った瞬間が何度かありました。例えば、寝坊したときに電車が遅れたので、先生が遅刻を許してくれたことがありました。またある時、私はテスト勉強をしていなかったのですが、友人と話していた内容から質問が出ました。

しかし、後に、これらは奇跡ではなく、ただの幸運だったことに気づきました。

では、本当の奇跡とは何でしょうか？

私には実現したい夢があります。

私は身長が 159 センチと低いのですが、バスケットボールのゴールでスラムダンクを決めることを夢見ています。多くの人はこれを「不可能な」夢だともうかもしれません。しかし、私は決してあきらめません。それを実現するために、毎日トレーニングをし、筋肉をつけたり、ジャンプ力を高めたりと一生懸命に取り組んでいます。もし成功したら、他の人には奇跡のように見えるかもしれませんが、私にとっては努力と粘り強さの結果です。

つまり、「奇跡」とは偶然や運命で起こるものではなく、目に見えない努力と粘り強い努力から生まれるものだとは私は信じています。誰かの隠れた献身がついに実を結んだとき、その瞬間は真の「奇跡」になります。振り返ってみると、野球でホームランを打ったり、サッカーでゴールを決めたりしたとき、奇跡が起きたと思いました。しかし、実際にはそれらは奇跡ではなく、長年の練習と努力の結果でした。

現在、私が実現したい奇跡は 3 つあります。

1 つ目は、このコンテストで優勝してディズニーのギフトカードをもらうこと。2 つ目は、好きな女の子をディズニーに誘うこと。3 つ目は、スラムダンクを成功させること。この 3 つの奇跡を実現するために、これからも努力を続けていきます。

このスピーチを書いているときに、夢や挑戦は、実際にコミットすれば実現できることに気づきました。このことに気づいたことで、自分に自信が持てるようになりました。

皆さんも、自分の「奇跡」について考えてみてください。そして、それが偶然に願うものではなく、自分の行動と努力で作arius 出すものであれば、必ず実現するでしょう。

奇跡って何？

奇跡とは何でしょうか？あなたは奇跡を体験したことがありますか？このスピーチコンテストのテーマを聞いたとき、私は今までに奇跡を体験したことがないと思いました。探してみると、人生で奇跡は見つかりませんでした。そこで、辞書で奇跡の定義を調べました。奇跡とは、並外れた、珍しい、または傑出した出来事です。私たちは奇跡という言葉をよく耳にしたり、見たりしています。たとえば、深刻な病気や怪我から回復したときや、試合に勝つときなどによく使われます。また、何かがうまくいってほしいときにも奇跡を願います。1つ質問します。奇跡は自然に起こるのでしょうか、それとも人が作り出すのでしょうか？つまり、奇跡が起こるのを待たなければならないのでしょうか？それとも、自分で奇跡を手に入れることができるのでしょうか？ハリーポッターシリーズで最もよく知られているJ.K.ローリングの例を紹介しましょう。ハリーポッターの前、彼女は生活保護を受けており、シングルマザーでした。彼女は12の出版社に本を持ち込みましたが、すべて拒否されました。しかし、彼女は決してあきらめませんでした。幸運にも、彼女の本は出版社の娘の興味を引き、ついに出版され、世界的な現象となりました。この物語は2種類の奇跡を示しています。1つ目は、自然に起こった奇跡、素晴らしい出来事です。2つ目は、強い願望を持ち、決して諦めないことで生み出された奇跡です。

最初、私は奇跡を経験したことがないと言いましたが、驚いたことに、スピーチを書いているときに、人生で奇跡を見つけました！それについてお話ししましょう。私に起こった奇跡は英語です。私は幼稚園の頃から英語を勉強していましたが、選択して勉強したわけではありません。しかし、それは私の人生を変えました。そこから、私は2つの貴重な経験、つまり奇跡を自分で得ました。1つ目は、3月にアメリカに留学し、新しい文化を直接体験したことです。私は外国人の友達を作り、ホストファミリーと一緒に時間を過ごしました。その間、私はお互いを尊重することの大切さを学びました。もう1つは、スピーチコンテストに参加したことです。英語を話すと、自分の意見を積極的に言えるので、自分が別の人になったように感じるがよくあります。英語には自信を与えてくれる力があります。留学やスピーチコンテストなど、新しいことに挑戦したいという気持ちになりました。視野が広がり、コミュニケーションの楽しさを知ったこれらの経験は奇跡と言えると思います。これらの経験には、偶然に起こった奇跡と、自分で起こした奇跡の2種類があります。

奇跡は素晴らしい出来事だと一概に言えません。なぜなら、奇跡の根拠は人それぞれだからです。まだ経験したことがないという方は、私のように視点を変えてみませんか？これまでお話ししてきたように、奇跡には2種類あります。自然に起こるものと、行動で起こすものです。先ほども言いましたが、強い願いがあれば奇跡はやってきますし、自分で奇跡を起こすこともできます。私たちの身近には奇跡の種があり、まだ見つけていないかもしれません。幸せになるために、奇跡を探したり、作ったりしてみませんか？私たちの身近にあるものすべてが奇跡なのかもしれません。

奇跡はあなたに起こります

困ったときや難しいことがあったとき、あなたはどうしますか？

あなたを励ましたり、頑張る力を与えてくれる人はいますか？

私には大好きで会いたい先生がいます。

小学校の最初の担任の先生でした。

私のことをよく理解してくれて、母親のように面倒を見てくれました。

いつも私の味方で、優しい声で話しかけてくれたので大好きです。でも、もう会えません。

数年前に病気で亡くなりました。

小学校1年生のとき、学校に行くのが嫌だった私を支えてくれた先生でした。

今でも励ましてくれていた気がします。

学年が上がって先生が変わったとき、先生が私に言った言葉が忘れられません。

「同じ学校だからいつでも会いに来ていいよ。笑顔を見せてね。そら、それが私を幸せにするから」と彼女は言いました。

「先生は私の支えで、私も笑顔で先生の支えになれた。うん！幸せ！！」と思いました。

学校にも慣れて友達もできました。でも、その友達の一人とはあまりうまくいっていませんでした。その時は、まだ幼すぎて理解できませんでした。母が先生に話したとき、先生は「そらはあの友達とうまくいってない。あの友達と一緒にいると居心地が悪いのかもしれない」と言いました。

「先生は私が話しているのを見て、私の本当の気持ちを理解してくれた」と思いました。私はそう思い、同時にとても驚きました。

先生は私が自分自身と向き合うことができず、自分の気持ちを見つけられなかったことを気づかせてくれました。

私の心の奥底にある気持ちや感情を理解できるのは、私だけなのかもしれません。実際、他の人の会話を聞いても、本当に何を考えているのかはわかりません。

しかし、先生は私を見ただけで理解してくれました。私に起こったことは、私に希望と勇気を与えてくれました。

私に起こったことは、人との出会いや絆、愛を大切にすることで起こる素晴らしい出来事だけではなく、奇跡を引き寄せることができると信じています。時には、特別な出会いや運命、偶然によって起こります。

困難な状況や課題の中に現れることもあると思います。自分の力だけでなく、目に見えないものの力にも頼ることができます。

私のように、日常の中の人や言葉、行動、出来事が特別なものであると気づくことで、私たちは成長し、困難に立ち向かう勇気を持つことができます。

それらはいつも起こるものではなく、タイミングをコントロールできない一生に一度の出来事であり、状況やその人の心の状態によって左右されます。その瞬間を大切にすべきだと思います。

それらは私たちの人生において非常に重要な意味を持っており、それを信じて受け入れることで、私たちは新しい可能性を見つけることができます。

感謝の気持ちを持ち続け、日常で起こることや幸運に焦点を当て、それらに感謝することで、私たちの人生は豊かになります。奇跡は私たちの心を温め、希望を与えてくれると思います

奇跡

2年前に卒業し、社員になりましたが、ここ数年で人としても専門家としても飛躍的に成長しました。

奇跡に近いほどの多くの注目すべき成果を経験しました。これらの目標を達成したことで、この分野で成長し続ける自信が持っています。

この会社に入社したとき、私は仕事の経験から得られる判断力と常識に欠けていました。最初は、部下として上司にいくつかの要望を伝えました。しかし、会社の規範に反するため、そうすべきではなかったと気づきました。最初は、この会社の社員になれることに満足していました。しかし、ビザ申請に時間がかかるだけでなく、官僚的すぎるため、すぐに不満を感じるようになりました。これは、日本の就労ビザ制度に対する私の認識不足によるものでした。その後、人事部門がビザ申請を効率的に行っていたことに気づきました。また、最近、採用部門が採用イベントや研修プログラムに多額の費用を費やしていることを知りました。そのため、会社が私たちのために多大な努力をしてくれたことに感謝しました。これにより、私は前向きに考え、勤勉な従業員のように振る舞うようになりました。

この2年間で、人間関係に対する私の意識は大きく変わりました。人に対して謙虚になり、不安なときは尋ねることが重要であることを学びました。また、特に新しい同僚に実験の仕組みを教える際に、専門家としての責任感も培いました。ビジネススキルを向上させるために、会社の福利厚生や研修プログラムに参加することにしました。私は、挑戦を忘れず、常に改善の好循環を維持するよう努めるべきであることを学びました。

今後は、国際的な仕事に携わることで、個人的な成長目標を設定します。さらに、視野を広げ、会社の製品を販売するために、さまざまな国のクライアントとコミュニケーションをとることに全力を尽くします。また、社内外の人間関係を築くことで、日本社会でのより良い人間関係を計画します。最後に、私は学び続け、これが前述のポイントと相まって、将来の毎日に満足できるようになるでしょう。

最後に、対人スキルを高めるために積極的な行動をとるという解決策があります。その解決策の1つは、さまざまな地域の顧客とコミュニケーションをとり、視野を広げ、会社の製品を販売することです。

このように、これまでのところ、私は成長の過程で起こった奇跡に強い影響を与えてきました。今後も仕事の難しさと喜びの両方に立ち向かうために、感謝の気持ちを持ち続けます。

奇跡を起こすこと

「奇跡」と聞いて、何を思い浮かべますか？偶然流れ星を見たり、気まぐれで買った宝くじで10億円が当たったり。もちろん、これらはすべて奇跡です。しかし、奇跡は単なる偶然なのでしょうか？それとも、自分で奇跡を起こすことができるのでしょうか？私は「奇跡を起こす」こともあると信じています。

私が「奇跡を起こす」を本当に体験したのは、昨年の夏のイギリスへの短期留学の時でした。当時の私は英語が苦手で、簡単な自己紹介もできませんでした。でも、心の底では英語を流暢に話せる人に憧れ、「私もあんな風に話せたらいいのに」と思っていました。同時に、「自分には無理だ」とも思っていました。そんな時、学校で留学の話聞き、これはいい機会だと思い、参加することにしました。イギリスに着いた時の私の英語力は相変わらずでした。初めてホストファミリーに会ったとき、私はあまり話すことができず、沈黙してしまいました。彼らは「もっとお話を聞かせてください」と言ってくれました。彼らの優しさに感謝する一方で、ぎこちなく自分に失望しました。転機となったのは、ホストファミリーが自分たちが作ったボードゲームを紹介してくれたときでした。シンプルで楽しく、一緒に遊ぶことで言葉が少なくても絆が深まりました。この経験を通して、私は自分の気持ちを英語で表現したいという気持ちに気づき、毎日少しずつ勉強を始めました。最終日には、ホストファミリーに感謝の気持ちを伝えるパーティーをしようと提案しました。パーティーでは、日本とイギリスのお菓子をシェアしたり、ゲームをしたり、日本の伝統的な踊りを披露したりしました。最後に、電話や辞書に頼らず、自分の言葉で感謝の気持ちを伝えました。緊張しましたが、彼らは私の言ったことをすべて理解していると言ってくれました。「あなたはとても一生懸命でした。私たちは多くの学生を受け入れてきましたが、あなたほど成長した人は見たことがありません。本当に奇跡です。」彼らの言葉は、私にとって忘れられない宝物となりました。帰国後、渡航前と渡航後の自分の英語の動画を見比べてみました。その違いは衝撃的で、まるで別人を見ているかのような上達ぶりでした。家族も同じように驚いて「奇跡だ！」と言いました。

でも、この奇跡は単なる幸運ではなく、努力の賜物だと私は知っています。

奇跡とは、不可能が可能になる瞬間だと思っています。そして「奇跡を起こす」とは、自らの努力で成し遂げることです。不可能だと思っていたことに向かって努力する過程は、それを現実にするだけでなく、自分自身を強くしてくれます。だから、もうできないと決めつけていることはありませんか？ 実現に向けて挑戦してみませんか？ そして、不可能を可能にする人、ブレイクスルークリエイターになりましょう！

私は魔法が使える

みなさんこんにちは。今日は魔法についてお話ししたいと思います。

「中学生って恥ずかしくないの？」って思ったことがありますよね？「空を飛び回りたい」とか「呪文や杖を振ってここを掃除したい」とか「どこでもドアがあったらなあ」とか思ったことがありますか？

そうなんです！ドラえもんから始まったんです！私が4、5歳の頃。科学と秘密道具ポケットのアニメの世界で魔法が主役の映画がありました。「映画ドラえもん のび太の魔界大冒険」、英語では「Doraemon: Nobita's Great Adventure into the Underworld」です。同じ頃、私はジブリの「魔女の宅急便」も読んでいました。これは、見知らぬ町で一人で暮らす13歳の少女と猫の成長を描いた物語です。私は、猫と話せたり、ほうきで飛び回ったりする映画の中の魔法に憧れました。

それから、世界的ベストセラーのハリー・ポッターに出会いました。私は、あらゆる本を読み、あらゆる映画を観て、演劇も観ました。本当に好きです。

やがて、私が憧れた魔法は本当に特別なものになりました。私は、英語のフラッシュカードのように、チャントのフラッシュカードを書きました。祖母に魔法の薬箱を頼み、魔法やハーブ、魔法の歴史に関する教科書を読みました。

その後、「西の魔女が死んだ」という本を読んで、魔法に対する考え方が変わりました。この物語では、麻衣という中学生が、田舎で祖母に1か月間魔女になるための訓練を受けます。「魔女」という言葉を聞いて、何を思い浮かべますか？呪いや召喚陣？それとも空を飛んで大釜で魔法の薬草を混ぜる？動物と話したり、ハリーポッターやメアリと魔女の花のような魔法学校に行くことを考えました。

でもマイはそうではありませんでした。マイの魔女修行の基本は、早起き早寝、きちんとした食事、毎日の運動、つまり規則正しい生活を送ることです。私が幼い頃にすでにやっていたことをやりました。彼女の魔法修行はすでに私の日常生活にとっても近かったので、母と私はすでに魔女だったかもしれません！

マイのおばあちゃんの口癖は「わかっている」でした。マイが心配事や恐怖について話すときはいつも、その優しい言葉で彼女はいつも安心していました。そして私はそれが大切だと学びました。

そのシーンを読んでから、魔法に対する私の見方は変わりました。言葉は人を幸せにし、悩みを取り去り、困難なときに私たちを元気づける力があることを学びました。「言葉には魔法がある」という考え。ちなみに、ハリーポッターの好きなキャラクターの一人、ダムブルドアも同じことを言っていたのを知り、彼も同じことを考えていてとても嬉しかったです！それ以来、ハリーポッターが好きになりました。「言葉には魔法がある」というのは、日本の言霊の考え方に似ています。それは、すべての言葉に神聖さがあるという考えです。悪い言葉は悪いものを生み出し、良い言葉は悪いものを招きます。

私は以前にも言霊を体験したことがあります。それは、1年生のときに英語の授業で「学校のルールを「しなければならない」と「してはいけない」を使って説明しましょう」を学んだときのことです。その授業で、「学校の窓を壊してはいけません」という文章を作りました。そして翌日、学校のコンピューター室の窓を壊しました！何も考えずに書いた言葉が現実になったことにショックを受けました。

前にいる人からプリントアウトをもらうときはいつも「ありがとう」と言いますが、前の人
が「どういたしまして」と言い返すと、それが後ろの人、さらにその後ろの人にも伝わり、
まるで魔法を使ったかのように他の人にも伝わっていきます。

物語は、何にも動じない精神力を持つことの大切さを伝えています。言葉の魔法のおかげで、
何が起こっても大丈夫だと学びました。優しい言葉の魔法をかけることで、私たちの人生に
優しさを招き入れます。みんな！私たちは言葉の魔法をかけることができます！私も、あな
たも、そこに座っているあなたも！私たちは魔法をかけることができます！皆さん一人一
人にこの魔法を試してもらい、私たちの素晴らしい世界にさらに多くの優しさを招き入れ
てください。